

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 3 月 25 日(2024.3.25)

【公開番号】特開 2023-163015(P2023-163015A)
【公開日】令和 5 年 11 月 9 日(2023.11.9)
【年通号数】公開公報(特許)2023-211
【出願番号】特願 2022-73811(P2022-73811)
【国際特許分類】
A 6 3 F 7/02(2006.01)
【F I】
A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

10

【手続補正書】
【提出日】令和 6 年 3 月 14 日(2024.3.14)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

抽選の結果に基づいて遊技者に利益を付与する遊技機であって、
表実装面に複数の発光体を実装される複数の発光基板を備え、
該複数の発光基板には、
特定方向に向けて一列に並んだ文字列によって構成される固有の管理番号が付されてお
り、
前記複数の発光基板のうちの特定発光基板には、
前記複数の発光体とは異なる電子部品であって、直線状に並んだ前記管理番号に対して
水平又は垂直となるような向きに配置される特定電子部品と、
直線状に並んだ前記管理番号に対して傾斜するような向きに配置される前記発光体と、
が少なくとも実装されており、
さらに、前記発光体に対応する情報表記が前記管理番号とは異なる視認態様で前記特定
発光基板に設けられる
ことを特徴とする遊技機。

30

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0002
【補正方法】変更
【補正の内容】

40

【0002】

従来、始動口に遊技球が入賞したこと（始動条件の成立）に基づいて大当たりとするか否
かの抽選を行い、抽選結果が大当たりとなった場合には、図柄を変動表示する表示装置に大
当たり図柄を停止表示して大当たり遊技を発生させる遊技機がある。このような遊技機には、
L E D 等の発光体が設けられ、表示装置の表示に関連して発光体を発光させて遊技興趣の
低下を抑止するようになっている（例えば、特許文献 1）。

【手続補正 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0003
【補正方法】変更

50

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開2021-049446号公報

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、上記した従来の遊技機では、発光体を発光させて遊技興趣の低下の抑止を図るために未だ改善の余地がある。 10

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、発光体を適切に発光させて遊技興趣の低下を抑止可能な遊技機を提供することにある。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項1に係る発明によれば、
抽選の結果に基づいて遊技者に利益を付与する遊技機であって、
表実装面に複数の発光体を実装される複数の発光基板を備え、
該複数の発光基板には、
特定方向に向けて一列に並んだ文字列によって構成される固有の管理番号が付されており、
前記複数の発光基板のうちの特定発光基板には、
前記複数の発光体とは異なる電子部品であって、直線状に並んだ前記管理番号に対して
水平又は垂直となるような向きに配置される特定電子部品と、
直線状に並んだ前記管理番号に対して傾斜するような向きに配置される前記発光体と、
が少なくとも実装されており、
さらに、前記発光体に対応する情報表記が前記管理番号とは異なる視認態様で前記特定
発光基板に設けられる 30

ことを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

40

50

本発明の遊技機においては、遊技興趣の低下を抑制することができる。

10

20

30

40

50